

## 【講師略歴】

はら まさと せいけい  
原 昌登 成蹊大学法学部教授

専攻 労働法（特にハラスメントの法律問題）

略歴 1976年 宮城県生まれ  
1999年 東北大学法学部卒業  
1999年 東北大学法学部助手  
2002年 東京大学大学院法学政治学研究科研究員を併任（～2003年）  
2004年 成蹊大学法学部専任講師  
2006年 成蹊大学法学部助教授（2007年より准教授に職名変更）  
2013年 成蹊大学法学部教授

公職 労働政策審議会（職業安定分科会労働力需給制度部会）委員  
中央労働委員会 地方調整委員  
厚生労働省「今後の若年者雇用に関する研究会」委員（2019～2020年）  
同「職場のパワーハラスメント防止対策についての検討会」委員（2017～2018年）  
国土交通省「持続可能な建設業に向けた環境整備検討会」委員（2022～2023年）  
司法試験考査委員、国家公務員採用総合職試験専門委員  
ほか、労働分野（ハラスメント等）における各種会議の委員を複数務める

また、「個別労働紛争解決研修」、労働委員会の「労使関係セミナー」、  
企業や労働組合の研修など、各種の講演やセミナー、研修等の講師を多数経験

## 著書

- ・単著：原 昌登『ゼロから学ぶ労働法』（経営書院、2022年）
- ・単著：原 昌登『コンパクト労働法（第2版）』（新世社、2020年）
- ・共著：水町勇一郎・緒方桂子編『事例演習労働法（第3版補訂版）』（有斐閣、2019年）
- ・共著：野川 忍・水町勇一郎編『実践・新しい雇用社会と法』（有斐閣、2019年）等

## 最近の論文等

- ・「パワーハラスメントの法律問題ーパワハラのない『未来』のために」  
成蹊大学法学部編『未来法学』267頁（有斐閣、2022年）
- ・「パワー・ハラスメントーサン・チャレンジほか事件」  
村中孝史・荒木尚志編『労働判例百選（第10版）』30頁（有斐閣、2022年）
- ・「大学の非常勤講師に対する無期転換の特例適用の有無ー専修大学事件」  
ジュリスト1578号138頁（2022年）
- ・「継続雇用制度における定年前後の労働条件の相違に関する不合理性判断のあり方」  
成蹊法学94号189頁（2021年）
- ・「同一労働同一賃金判決をどう読むか」賃金事情2818号39頁（2021年）
- ・「無期転換した労働者に対する正社員就業規則の適用の有無  
ーハマキョウレックス（無期契約社員）事件」ジュリスト1564号131頁（2021年）
- ・「ハラスメントの定義と課題」ジュリスト1546号14頁（2020年）
- ・「歩合給から割増賃金相当額を控除する賃金制度における割増賃金の支払の有無  
ー国際自動車事件（第2次上告審判決）ー」判例秘書ジャーナルHJ100085（2020年）
- ・「パワハラ防止措置の法制化の意義」成蹊法学90号183頁（2019年）
- ・「ゼロから始める労働法レッスン」を「労務事情」（産労総合研究所）に連載中